

# 「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名稱	害虫等駆除事業費 [アライグマ・ハクビシン防除等事業]							
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 6	環境衛生費	事業番号 1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	環境 課 環境公害 係				課長名	下村 和郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 8	
【施策名】 環境の保全						総合計画書 (ページ)	99	
この 仕 事 の 目 的	① 誰(何)を対象にしていますか。			①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市民。			→ 人口 85,266人(令和2年4月1日時点)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
アライグマ・ハクビシン等の個体数を減少させ、食害・糞害等の被害を減らしたい。			→ アライグマ・ハクビシン等に関する相談件数: 75件(令和3年3月31日時点)					
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
捕獲器の貸出し(委託業者による設置)を行った。また、武蔵村山市と連携し、市境に位置する芋窪地区を対象に一斉捕獲を目的とした「狹山丘陵における2市合同アライグマ・ハクビシン捕獲キャンペーン」を実施した。			→ 捕獲器の貸出し件数: 58件(令和3年3月31日時点)					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
	対象指標	①の数値		人	平成30年度実績		平成31年度実績	令和2年度実績
	成果指標	②の数値	件	51.0	74.0	75.0		
	目標	②の目標値	件					
活動指標		③の数値	件	58	41	58		
経費	事業費(実績)		円	643,680	536,920	823,565	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。 その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	一般財源		円	322,680	268,920	417,565		
	特定財源(国・都・他)		円	321,000	268,000	406,000		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(再任用以外)		人	0.4	0.4	0.4		
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0		
	職員人件費(再任用以外)		円	3,297,600	3,324,000	3,352,000		
	職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	3,941,280	3,860,920	4,175,565			
環境変化等	(1) 開始年度		H29 年度					
	(2) 環境の変化		市内でアライグマ・ハクビシン等の痕跡、目撃情報、住宅等への侵入に関する相談が増加したため、これらの生活・農業被害対策として平成29年度より開始した。平成30年度以降は食害(農作物や庭の金魚が食べられる)・糞害等に関する相談・実害が増加した。市民のアライグマ・ハクビシン等に対する認識が高まっていると感じる。					

事業名称	害虫等駆除事業費 [アライグマ・ハクビシン防除等事業]			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害 係	課長名 下村 和郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・捕獲器については、原則として1ヶ月の貸出しであるが、貸出し期間の延長希望がある。 ・キャンペーン実施について、設置の問い合わせが多くあった。			
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。 (複数回答可)			
6 市民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：⑥、⑦、⑧（設置場所が依頼者の敷地内で、依頼者による毎日の見回り、エサの補充を必要とするため、市民協働が不可欠） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：自治会回覧）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
		(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 捕獲キャンペーンを年に数回実施し、アライグマ・ハクビシン防除等事業に対する意識を高めてもらう。		
	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 12台の捕獲器を遊ばせずに、いかに効率的に稼動させるかが課題。			
7 課題	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 捕獲器貸出の延長や捕獲キャンペーンを実施し、捕獲器を効率的に稼働させた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） キャンペーン実施を継続し、捕獲器を効率よく稼働させ、捕獲件数を増やすことが課題。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名：環境の保全 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 捕獲率を高めることを目的に、民家以外への設置を検討する。例えば、緑地など管理の目が行き届き、かつ子供達に悪戯されない場所など。また、今年度実施したキャンペーンを継続する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 毎日の見回りやエサ換えやアライグマ・ハクビシン等が捕獲された場合、速やかな回収が必要（それ以外の動物は速やかな放獣）。また、キャンペーン実施において、市民への周知が必要。			